

アルバータ州での葬儀

自分の葬儀の企画

あなた自身の葬儀の方式を決めて家族、友人に依頼する前に次のことを決めておく必要があります。葬儀の前の遺体をどうしたい？ 臓器を寄贈するか、しないか？ 遺体を埋葬したいか、それとも火葬したいか？ 遺体を防腐処理し、死に化粧をほどこしたいか？ 遺体を研究施設に寄贈したいか？

どのような葬儀を行いたい（棺桶の種類、葬儀の場所、葬儀の内容）？

埋葬したいときは墓地が確保してあるか？ 火葬の場合は遺骨をどうするか？

以上のことを決めたら、その内容を「葬儀契約書 (Pre-need Funeral Contract) として書き残します。この契約書の内容を書くにあたって助言を得られることがあります。

葬儀社：アルバータ州の葬儀社は政府から認可を受けています。数社を訪ねてサービスの内容と費用を確かめると良いでしょう。

宗教団体：もしあなたが宗教団体に属しているなら、葬儀について相談します。特に葬儀社の役割と宗教団体の役割について確かめておきます。

葬儀協会：葬儀協会の会員になっていれば、協会があなたの葬儀を手伝ってくれます。通常、直接葬儀社に依頼するより、安く葬儀ができます。

参照

自分の葬儀を企画する (Planning your own funeral)

<http://www.cplea.ca/wp-content/uploads/PlanningYourOwnFuneral.pdf>

葬儀契約書

葬儀契約書で葬儀の内容と費用を決めて、生前に葬儀社に支払っておきます。kのような契約を出来る葬儀社は政府から特別な認可を受けて葬儀社のみです。葬儀社の評判については次の団体で確かめられます。

アルバータ葬儀サービス規制協会 (Alberta Funeral Services Regulatory Board、
<http://afsrab.ab.ca/>)

葬儀費用の支払い

二つの支払い方法があります。信託ファンド方式 (Trust-funded plan) では葬儀社の信託ファンドに費用を預け、葬儀のあとで葬儀社がこの信託ファンドから費用を引き出します。保険ファンド方式 (Insurance-funded plan) では葬儀費用の保険契約をして、葬儀の後で葬儀社は保険会社から支払いをうけます。それぞれに長所と短所があります。葬儀社と相談して、自分に合ったものを選びます。

埋葬 (Burial service)

遺体の防腐処置は遺体を通常の交通手段で運搬する時は必用になりますが、葬儀社の葬儀車で運搬する時は必用ありません。遺体を棺桶に入れて、葬儀のときに参列者が遺体の顔を見るときには防腐処置の死に化粧をします。

棺桶ほ費用は材質によって大きくことなります。

埋葬は政府に認可された墓地だけで可能です。埋葬許可を葬儀社、病院から発行して貰う必要があります。全ての死者はアルバータ政府の登録されなければなりません。そしてカナダ税務局に通知します。

火葬 (Cremation)

火葬をするには監察医が死亡証明書を検査して許可する必要があります。火葬を終了すると2キロから3キロの粉々になった骨と灰が残ります。骨と灰は火葬場が廃棄するか、または家族が骨壺 (Urn)に入れて引き取ります。火葬は火葬場 (Crematory)で行います。火葬場は葬儀社または墓地に付属しています。

火葬には遺体を棺桶または火葬用の容器に入れます。

骨壺は墓地に埋める、墓地の骨壺の保存場所 (Columbarium)に保存する、骨と灰を墓地に埋める、骨と灰を墓地の決められた場所に散布することができます。

アルバータ州では骨と灰を散布できる場所は法律で限られています。骨と灰は自分の所有する土地に散布できます。他人の所有する土地 (市町村の所有する公園、州立公園、国立公園など) は所有者の許可が必要です。公園により、散布する場所と時間に制限があります。またその他、アルバータ州が所有する、土地、川、湖に散布するときは州政府の骨と灰の散布に関する規則を参照にしてください。

骨と灰を散布してしまうと、回収不可能ですから、よく考えてから実行してください。

告別式

法律的には遺体を普通の自動車アルバータ州ないのどこへでも移動できますが、実際にはいろいろと面倒なことがあります。葬儀社とよく相談してください。

葬儀方法書の保管

希望する葬儀方法を遺書に書いて置くこともできますが、遺書は葬儀が終わってから見つかることも多いので、家族、友人に知らせておく、宗教団体に知らせておく、遺書の執行人に預けておくなどの方法で、自分の希望の葬儀の方法が、死後すぐにわかるようにしておくといでしょう。

生前に葬儀社と葬儀契約を結べば、この契約は法律上有効で、葬儀社は契約どおりの葬儀を行う義務があります。遺書の中に葬儀方法を書いておけば、遺書の執行人はこの通りの葬儀を行う義務がありますが、実際には遺族の意向により、葬儀を行い、必ずしも死去した人の希望に沿わないことがあります。またただ希望する葬儀を書類にして残した場合は、遺族が葬儀を行うので、死去した人の希望に沿わないこともあります。

葬儀契約、葬儀方法書が存在しない場合は、遺書の執行人、生存している伴侶、同居している成人、成人した子供、両親、成人した孫の順番で葬儀の方法を決定する権利があります。

エドモントン地区葬儀協会 (Memorial Society of Edmonton & District)

これは非営利のどの宗教団体にも属さない団体で、尊厳のある葬儀を行いたい人たちが所属しています。協会はエドモントン地区の葬儀社と墓地と契約して、会員が市場価格より安く、火葬、埋葬、葬儀を行えるようにしています。また、会員は市場価格より安く墓地の購入ができます。

参照

エドモントン地区葬儀協会 (Memorial Society of Edmonton & District)ウェブサイト
<https://www.msedmonton.com/>

葬儀関係の費用

エドモントンの葬儀社を利用した場合の標準的な葬儀関係の費用

- (1) 火葬方式 (Cremation package) : \$850
葬儀社との相談、火葬に必要な書類の手続き、遺体の葬儀社への移動、火葬、骨壺、葬儀社による死亡証明書
死亡広告の作成および新聞への掲載
- (2) 家族の告別式及び火葬 (Family viewing and cremation package) : \$1,099 上記の火葬方式プラス葬儀社のレセプションホールでの死者との対面、コーヒー、ティー、ジュース
- (3) 埋葬方式 A (Burial services package) : \$3,250
葬儀社との相談、火葬に必要な書類の手続き、遺体の葬儀社への移動と棺桶への位相、死に化粧、火葬場のチャペルで告別式、墓地への葬儀車、葬儀社による死亡証明書、死亡広告の作成および新聞への掲載；棺桶は別料金
- (4) 埋葬方式 (Burial services package) : \$4,250
上記 (3) と同じ、棺桶の選択肢が増える。